

きゅりあん35周年記念ワンコイン名画座

第95回 アカデミー賞ノミネート 第80回 ゴールデングローブ賞ノミネート

品川区生まれ

ノーベル賞作家

黒澤明 × カズオ・イシグロ

不朽の名作がイギリスを舞台にいま、よみがえる！

生きる LIVING

最期を知り、人生が輝く。

監督：オリヴァー・ハーマナス

脚本：カズオ・イシグロ

音楽：エミリー・レヴィ・ネイズ・ファルージュ

出演：ビル・ナイ／エイミー・ルー・ウッド／アレックス・シャープ／トム・バーク

製作：Number9F

原作：黒澤明 監督作品『生きる』

(C) Number 9 Films Living Limited

2024年10月1日(火) 14:00上映/13:15開場

きゅりあん大ホール

日本語字幕/102分

主催：S 公 財団法人 品川文化振興事業団

500円

全席指定
未就学児入場不可

品川区生まれ

黒澤明

×

ノーベル賞作家

カズオ・イシグロ



不朽の名作がイギリスを舞台にいま、よみがえる！

黒澤明の不朽の名作『生きる』(1952年)が第二次世界大戦後のイギリスを舞台に蘇る。小説「日の名残り」、「わたしを離さないで」などで知られるノーベル賞作家カズオ・イシグロは、若かりし頃にこの黒澤映画に衝撃を受け、映画が持つそのメッセージに影響されて生きてきたと語る。そんな彼が脚本を手掛け、この鬱屈した時代に新しい『生きる』を誕生させた。監督は2011年に『Beauty』(原題)でカンヌ国際映画祭のクィア・パルムを受賞したオリヴァー・ハーマナス。『ラブ・アクチュアリー』、『パイレーツ・オブ・カリビアン』シリーズなどに出演しているビル・ナイが主演を務め、第95回アカデミー賞にノミネートされた。

黒澤明×カズオ・イシグロ。70年の時を経てもなおこの映画のメッセージは、観るものすべての心に光を灯すだろう。

STORY

1953年。復興途上のロンドン。公務員のウィリアムズ(ビル・ナイ)は、いわゆる“お堅い”英国紳士だ。役所の市民課に勤める彼は、部下に煙たがられながら事務処理に追われる毎日。家では孤独を感じ、自分の人生を空虚で無意味なものだと感じていた。そんなある日、彼は医者から癌であることを宣告され、余命半年であることを知る——。彼は自分の人生を見つめ直し始め、充実した人生を手に入れようと新しい一歩を踏み出す。その一歩は、やがて無関心だったまわりの人々をも変えることになる——。

7/23(火)10:00 発売 ※発売初日はお一人様6枚まで
※未就学児入場不可

WEB

品川文化振興事業団ホームページ

<https://www.shinagawa-culture.or.jp>

きゅりあん



窓口

きゅりあん(JR大井町駅徒歩2分)、スクエア荏原(東急目黒線武蔵小山駅徒歩10分)
メイプルカルチャーセンター(JR西大井駅前)、O美術館(JR大崎駅前)

電話・問い合わせ

チケットセンターCURIA ☎03-5479-4140 ※電話予約は座席選択不可。



最新情報を事業団
ホームページで
ご確認ください。

※上映中の入場については制限させていただきます場合がございます。
※体調がすぐれない方のご来場はお控えください。